

科目コード／科目名 (Course Code / Course Title)	自動登録／演習 H10 (Seminars H10)		
担当者名 (Instructor)	沼尻 晃伸(NUMAJIRI AKINOBU)		
学期 (Semester)	秋学期(Fall Semester)	単位 (Credit)	2単位(2 Credits)
科目ナンバリング (Course Number)	HIS2510	言語 (Language)	日本語 (Japanese)
備考 (Notes)			

授業の目標 (Course Objectives)

演習 H9に引き続き、日本現代史の基礎を学びつつ、史料に基づき歴史認識を深め、日本現代史の課題を自ら設定し、実証するため基礎を理解する。

Continuing from Seminars H9, students will deepen their awareness of history based on historical materials, will set their own issues in contemporary Japanese history, and will understand fundamentals for verifying these, while learning the basics of contemporary Japanese history.

授業の内容 (Course Contents)

日本現代史、なかでも 1970～80 年代にかけての社会経済史・環境史を研究対象とする。授業は、指定した文献や史料を参加者全員が授業の前に予習しておき、その中の 1～2 名がレポーターとして報告し、その報告に基づき全員が質疑応答する形式で行う。具体的には、以下の通りである。

1. 日本現代史に関する基礎的文献の講読
2. 1970-80 年代における社会経済史・環境史に関する史料読み
3. 史料読みの授業をふまえ、関連する史料や文献の講読

学生の理解度や興味関心を重視して進度を決定し、以上の 1～3 を繰り返して、授業を進める。最後に、1 年間のゼミでの研究成果を小論文にまとめる。

The subjects of research will involve contemporary Japanese history, especially socioeconomic and environmental history in the 1970s and 1980s. All participants will prepare the specified literature and historical materials ahead of the class. In the class, one or two participants will take the role of reporter, after which all members will take part in Q&As based on the reports. Specifically, the course will include the following:

1. Reading of fundamental literature concerning contemporary Japanese history
2. Reading of historical materials concerning socioeconomic and environment history in the 1970s and 1980s
3. Reading of related historical materials and literature, based on preceding in-class reading of historical materials

The class will judge progress with an emphasis on students' degree of understanding and interest, and will advance through repetition of the above steps 1-3. Finally, students will summarize their one-year research results in a short essay.

授業計画 (Course Schedule)

1. 日本現代史に関する史料・文献講読とそれに関する議論(1)
2. 日本現代史に関する史料・文献講読とそれに関する議論(2)
3. 日本現代史に関する史料・文献講読とそれに関する議論(3)
4. 日本現代史に関する史料・文献講読とそれに関する議論(4)
5. 日本現代史に関する史料・文献講読とそれに関する議論(5)
6. 日本現代史に関する史料・文献講読とそれに関する議論(6)
7. 日本現代史に関する史料・文献講読とそれに関する議論(7)
8. 日本現代史に関する史料・文献講読とそれに関する議論(8)
9. 日本現代史に関する史料・文献講読とそれに関する議論(9)
10. 日本現代史に関する史料・文献講読とそれに関する議論(10)
11. 日本現代史に関する史料・文献講読とそれに関する議論(11)
12. 日本現代史に関する史料・文献講読とそれに関する議論(12)
13. 日本現代史に関する史料・文献講読とそれに関する議論(13)
14. 日本現代史に関する史料・文献講読とそれに関する議論(14)

授業時間外(予習・復習等)の学習 (Study Required Outside of Class)

各回該当箇所の史料・文献を予習し、不明な言葉などを調べておく。授業終了後には、当日の議論をまとめ、改めて史料・文献を読みなおす。

成績評価方法・基準 (Evaluation)

出席と議論への参加度(50%) / ゼミでの報告と授業内提出物(50%)

授業回数の 80%以上以上出席していない場合、成績評価はDとする。

テキスト(Textbooks)

授業中に指示する。

参考文献(Readings)

授業中に指示する。

その他(HP等)(Others(e.g.HP))

注意事項(Notice)